

2016年3月期

決算補足説明資料

2016年5月13日

株式会社レアジョブ

1. 2016年3月期について

2016年3月期 業績概要

通期予想（2016年2月15日開示）と比較して、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに上回りました。

なお、2016年3月期は期首の公表通り、積極投資の年として営業およびプロダクト強化や新規サービスに向けたシステム開発、TVCMの実施、ブラジル展開、本社移転等の戦略的投資を実施した結果、営業利益および経常利益は前期を下回りました。

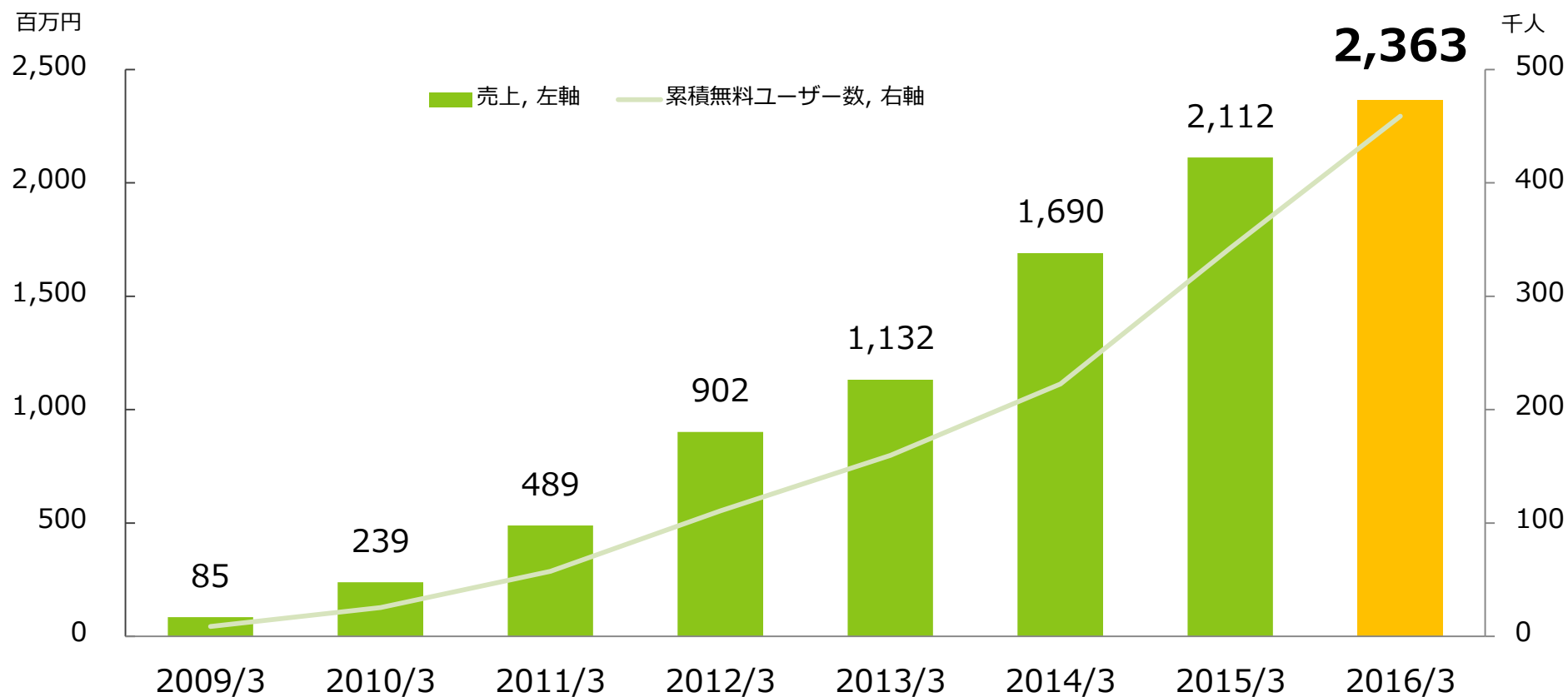
単位：百万円

	2016年3月期 通期実績	2016年3月期 通期予想	達成率	2015年3月期 通期実績	前期比
売上高	2,363	2,350	100.6%	2,112	111.9%
営業利益	17	0	—	200	8.6%
営業利益率	0.7%	—%	—	9.5%	—
経常利益	79	60	132.3%	145	54.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	80	139.3%	107	103.9%

売上高および会員数の推移

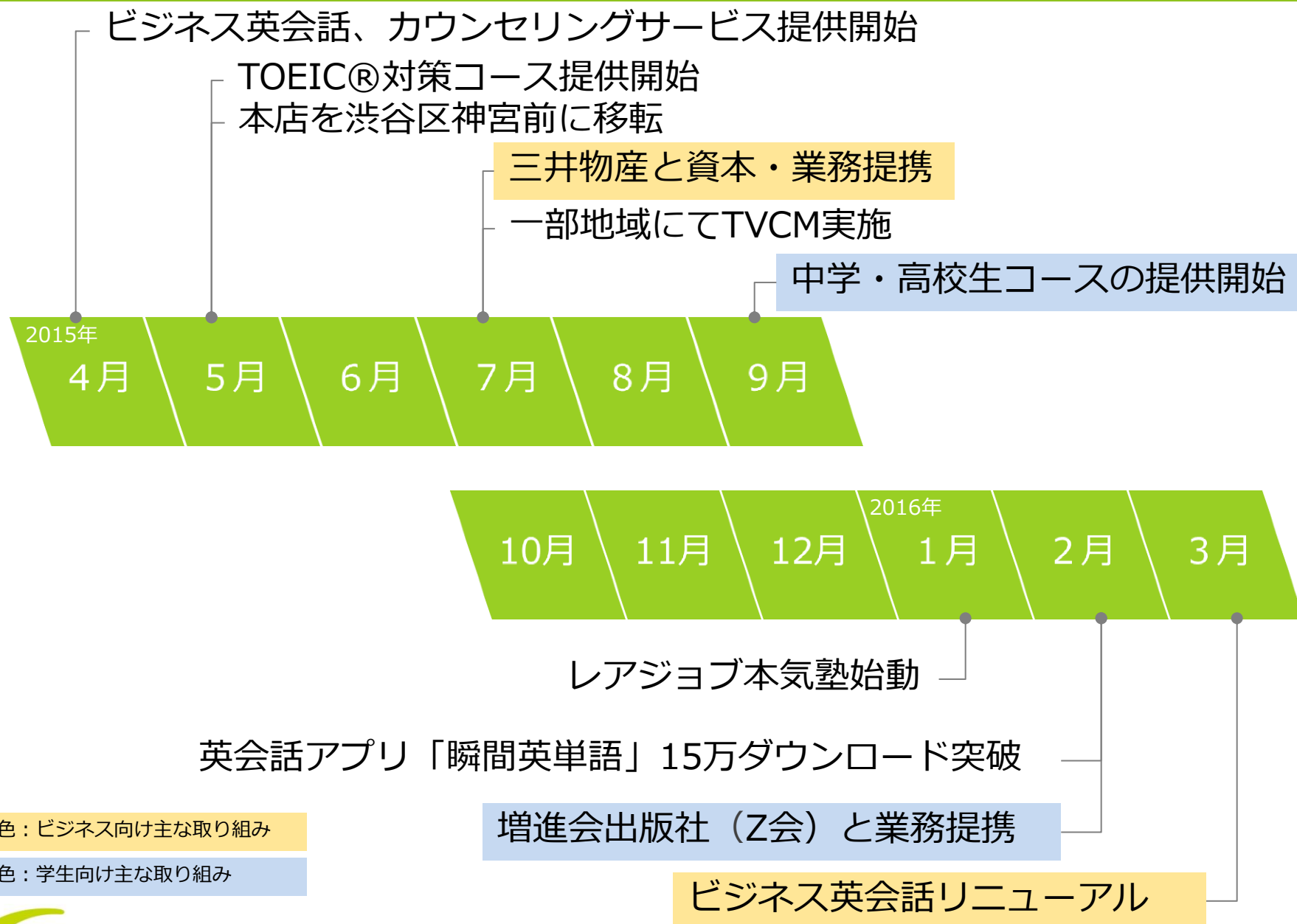
累積無料ユーザー数の増加に伴い、売上高は堅調に推移しております。

売上高及び累積無料ユーザー数推移



※2012/3より連結決算となっております

2016年3月期の主な取り組み

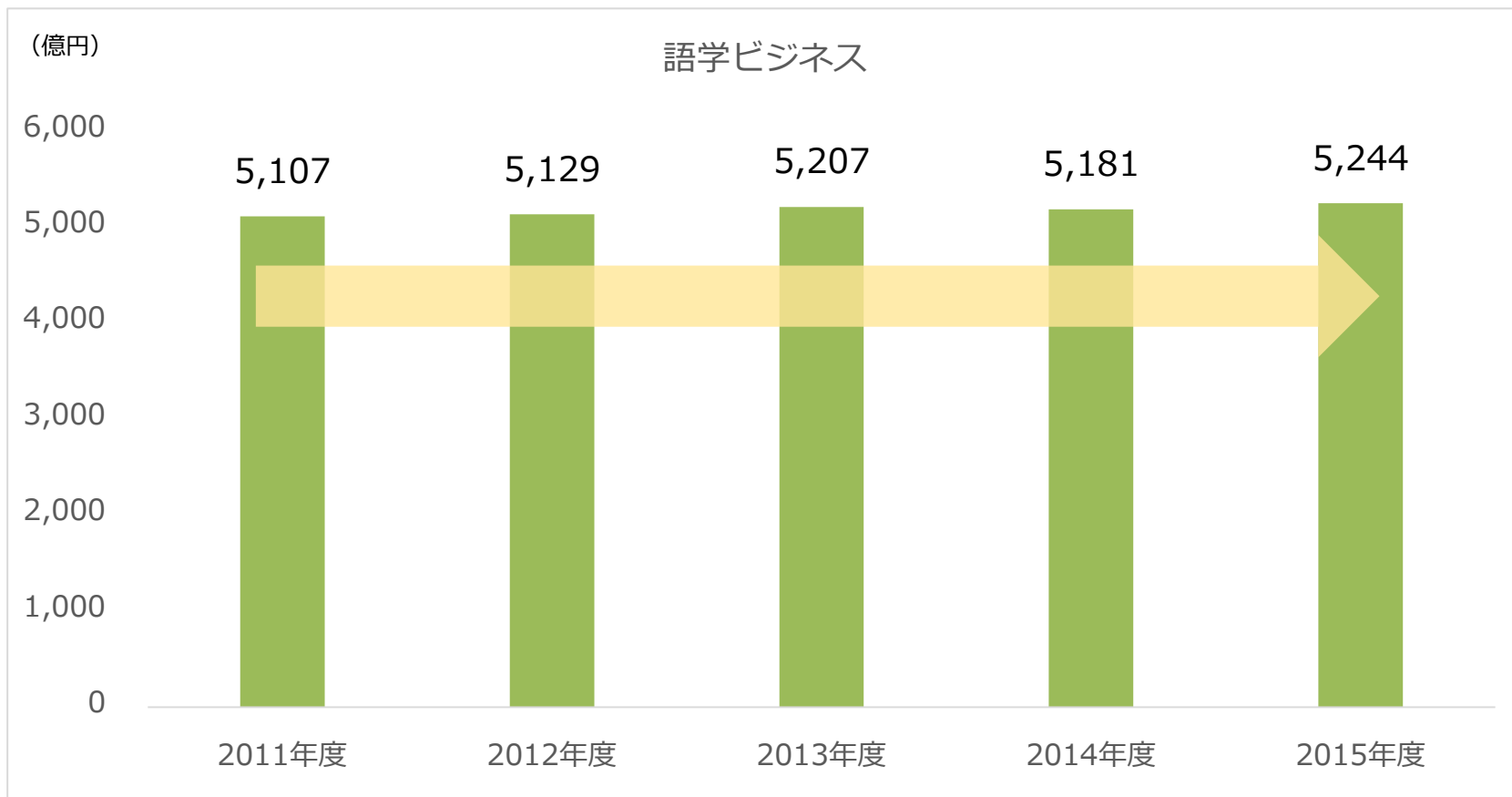


2. 関連する市場とそれに向けた取り組み

1) 語学ビジネス市場

語学ビジネス市場全体

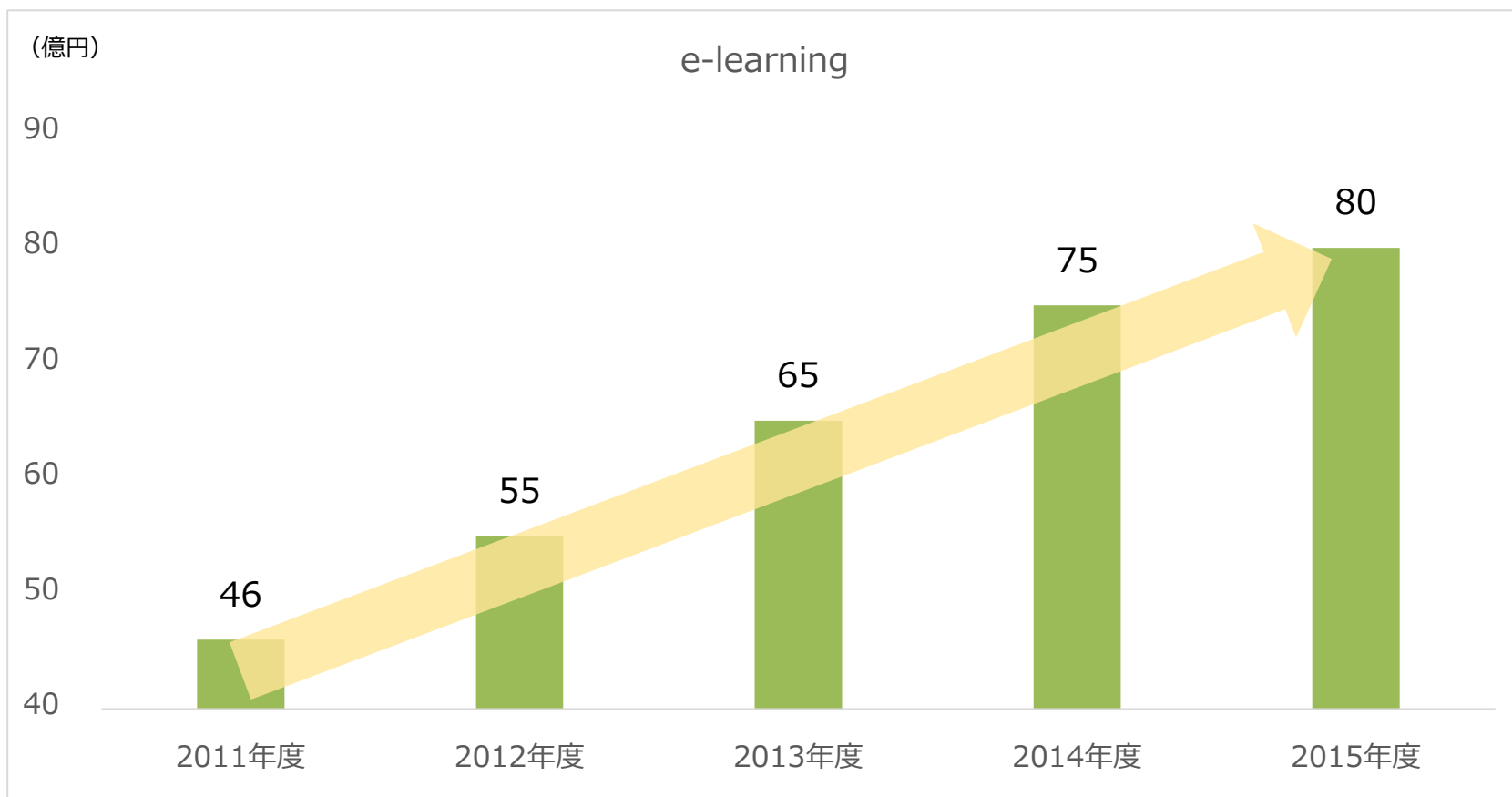
語学ビジネス市場全体では、ほぼ横ばいではあるものの、2015年度で約**5,244億円**の市場となっています。少子化の中でも、語学ビジネスには高いニーズがあります。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2015」

語学ビジネス市場（eラーニング）

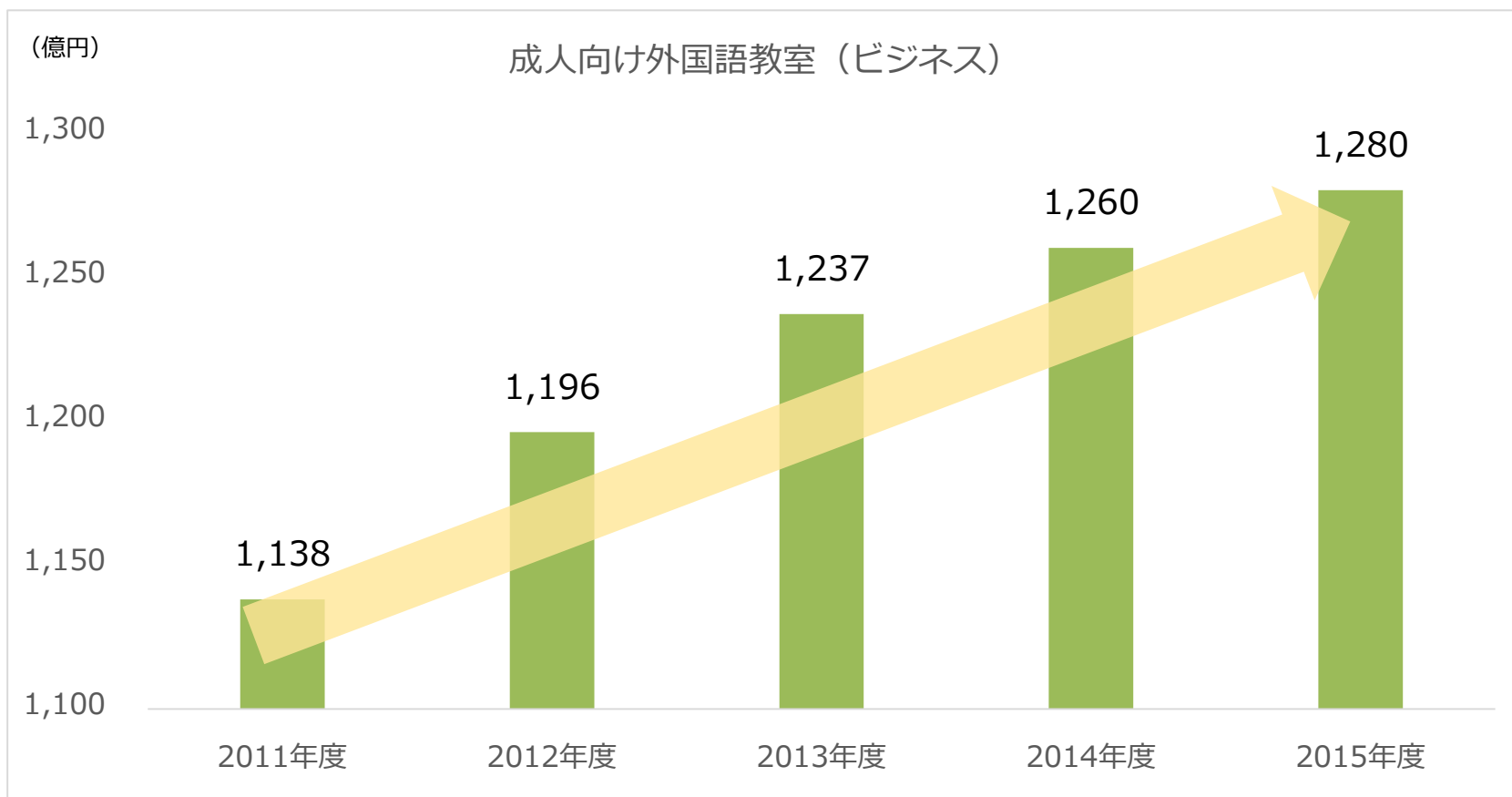
語学ビジネス市場約5,244億円のうち、eラーニングはいまだ**約80億円**（2015年度）ですが、今後、語学ビジネスのeラーニング化が加速されることで、オンライン英会話の市場規模はさらに拡大されることが予想されます。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2015」

語学ビジネス市場（成人向けビジネス）

成人向け（ビジネス）市場規模は約**1,280億円**（2015年度）あり、語学ビジネス市場において、成人向け外国語市場は堅調に拡大し続けております。レアジョブでもビジネスニーズに対応したサービスのリニューアルを行っております。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2015」

ビジネスニーズ向けの主な取り組み

ビジネスコースリニューアル

成人向けのビジネスニーズに応えるため、4月より、ビジネスコースのリニューアルをしております。一般講師よりも厳しい品質基準をクリアした**認定講師**によるレッスンと**PCPPモデル※**に基づいた教材を提供することで、英語習得に迫られているシリアスラーナー向けに**成果訴求サービス**の提供を開始しております。



ビジネス認定講師



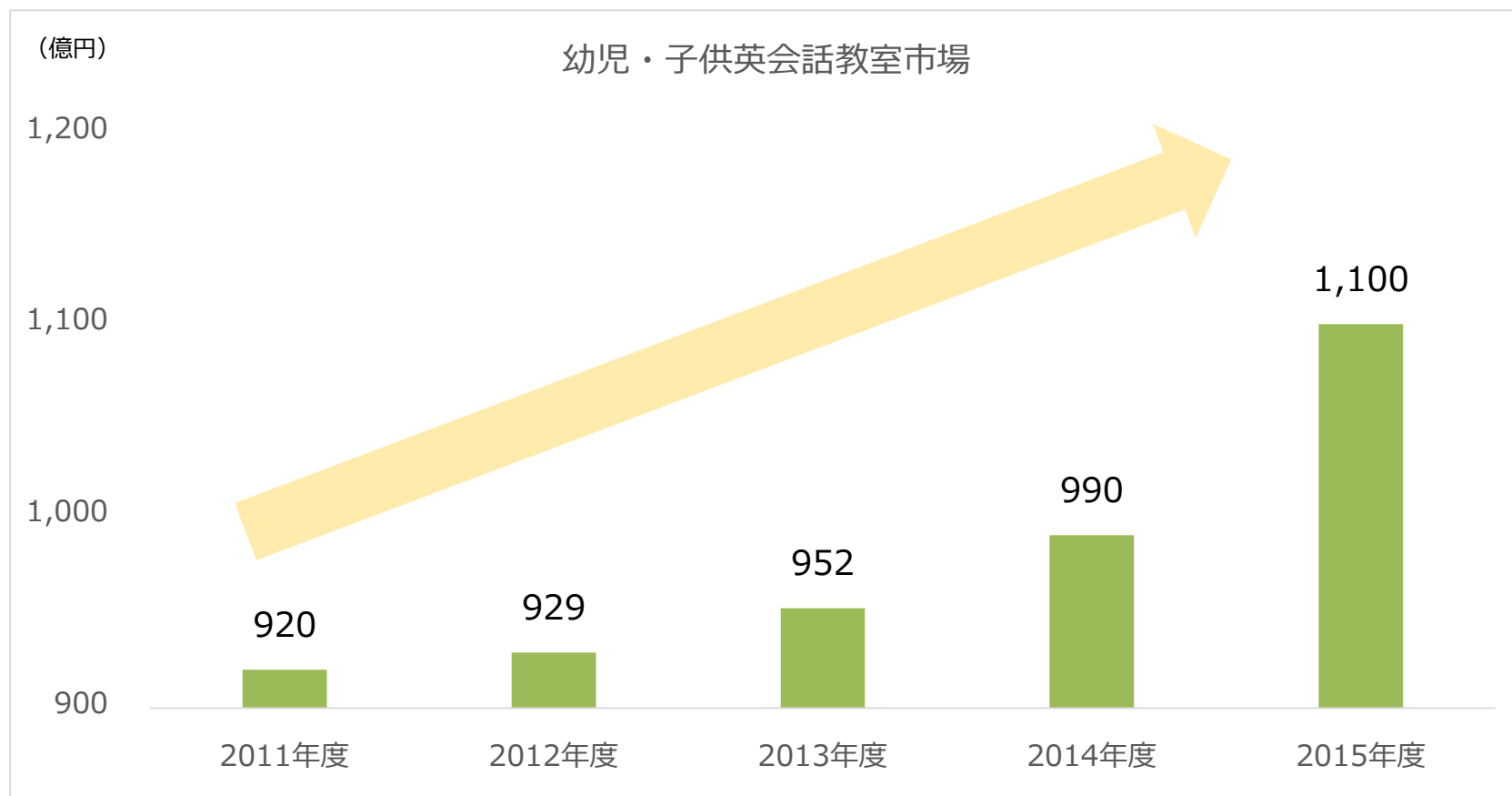
実践ビジネス教材
(PCPPモデル)

成果にコミットしたレッスンを提供

※PCPPモデル：教科書を用いた内容中心の授業はPresentation（提示）、Comprehension（理解）、Practice（練習）、Production（産出）の流れで行うことが効果的であるという考え方。

語学ビジネス市場（幼児・子供向け英会話）

幼児・子供向け市場規模は約**1,100億円**（2015年度）であり、語学ビジネス市場において、子供英会話教室市場は急速に拡大しております。レアジョブでも、中・高生向けのサービス提供を開始しております。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2015」

子供（学生）向けサービスの主な取り組み

中学・高校生コースの提供開始

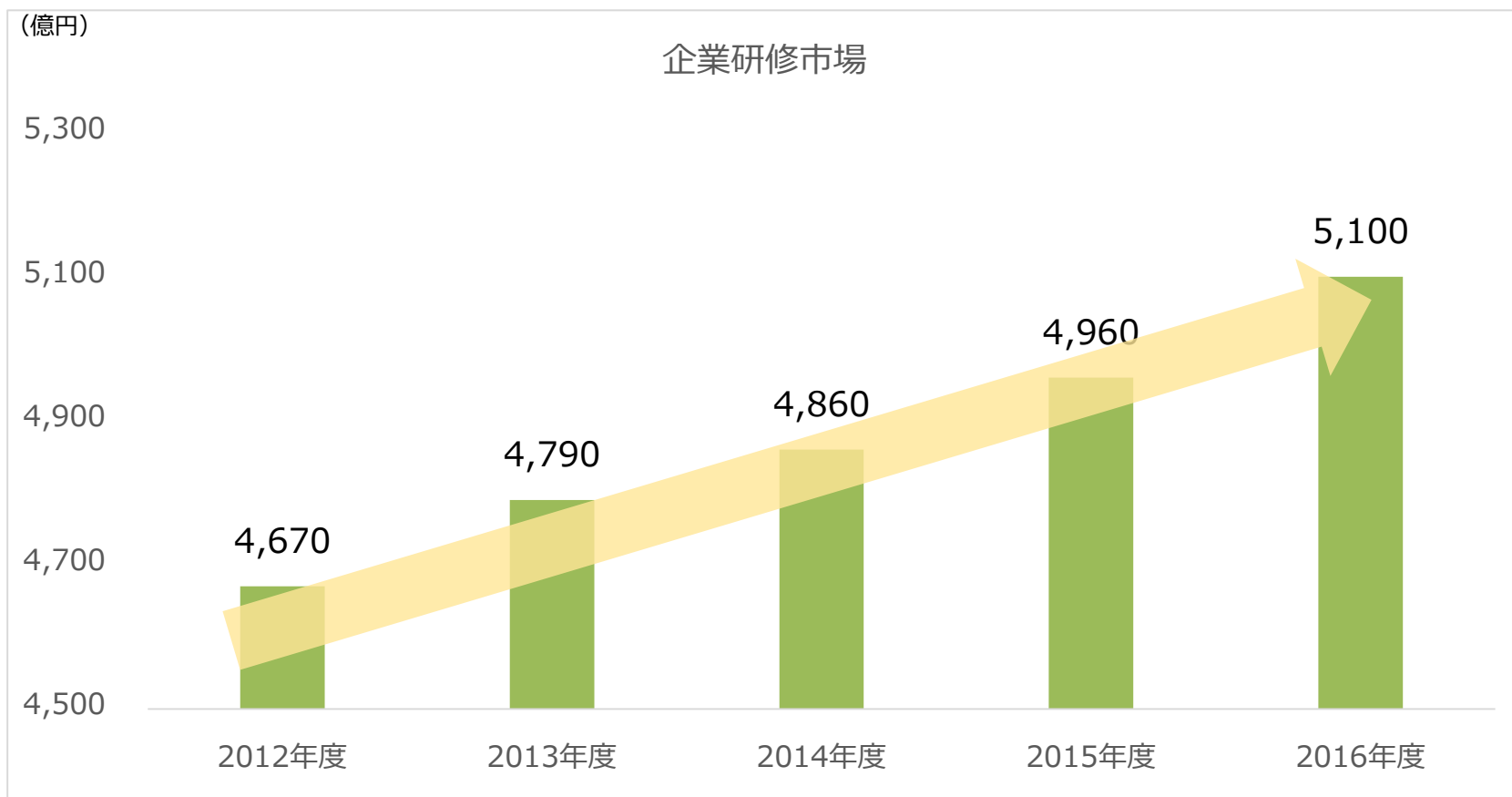
2020年の**大学入試改革**に伴い必要性が高まっている**英語4技能（聞く・話す・読む・書く）**をバランスよく強化し、英検®二次試験面接対策も行える、中学・高校生コースの提供を昨年9月より開始しております。



2)企業向け研修サービス市場

企業研修市場全体

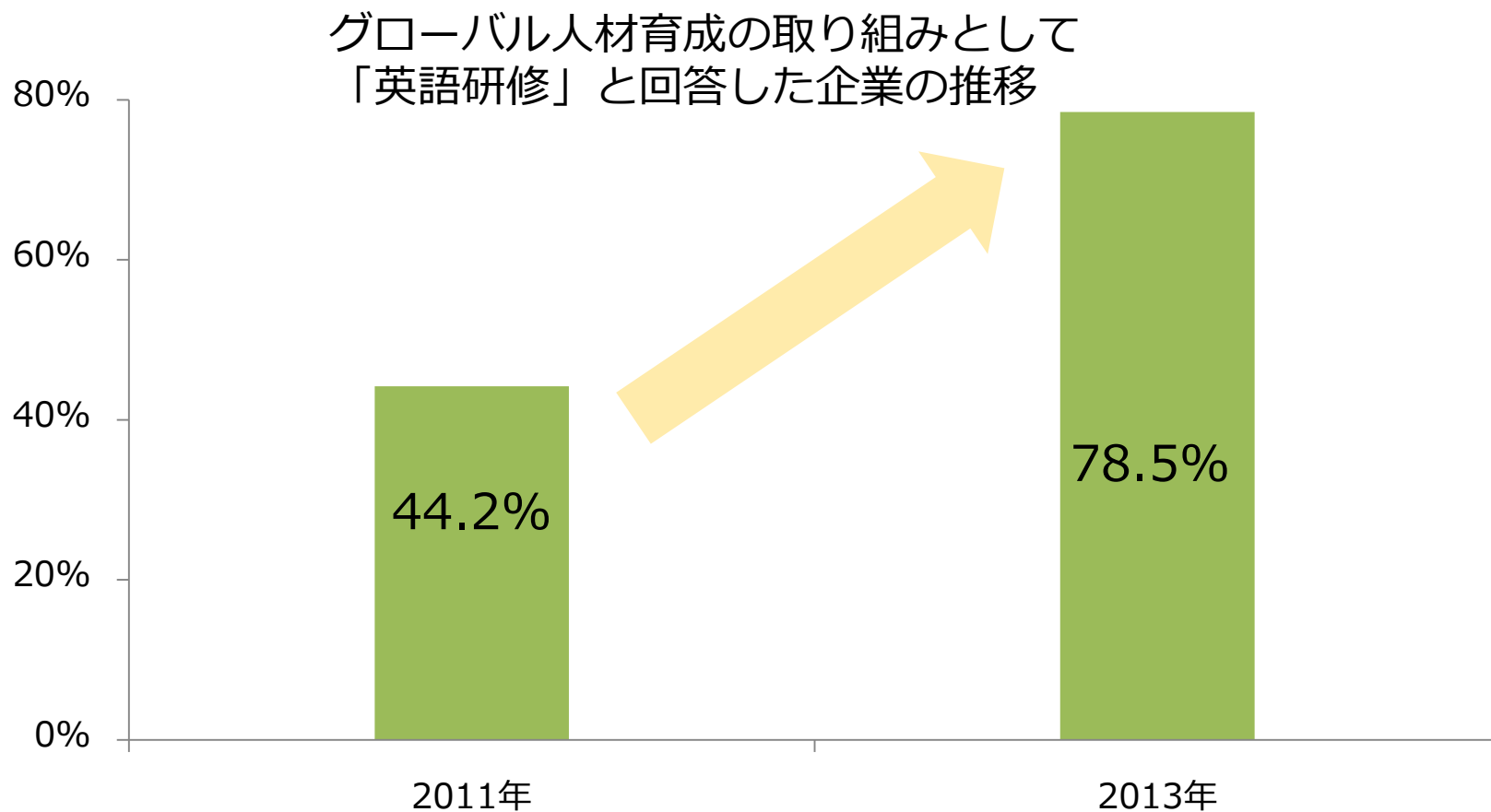
企業研修市場は、2016年度で約**5,100億円**の市場が想定されております。
企業研修の手段としてeラーニングの利用社数、利用人数が増加しております。



出典：矢野経済研究所「企業向け研修サービス市場に関する調査結果2015」

企業における英語研修のニーズ

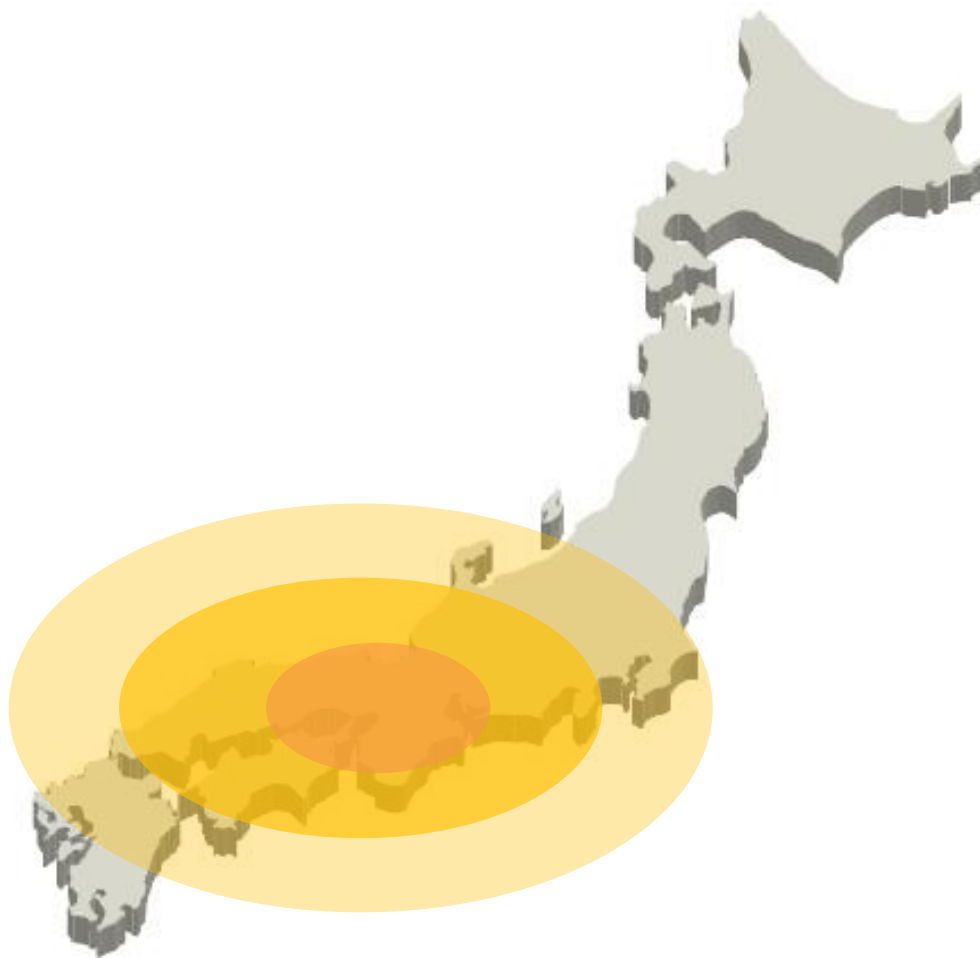
このうち、上場企業におけるグローバル人材育成のための取り組みとして英語研修のニーズは2013年以降も継続して高まっていると想定されます。



出典：一般社団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
「2013 上場企業における英語活用実態調査」

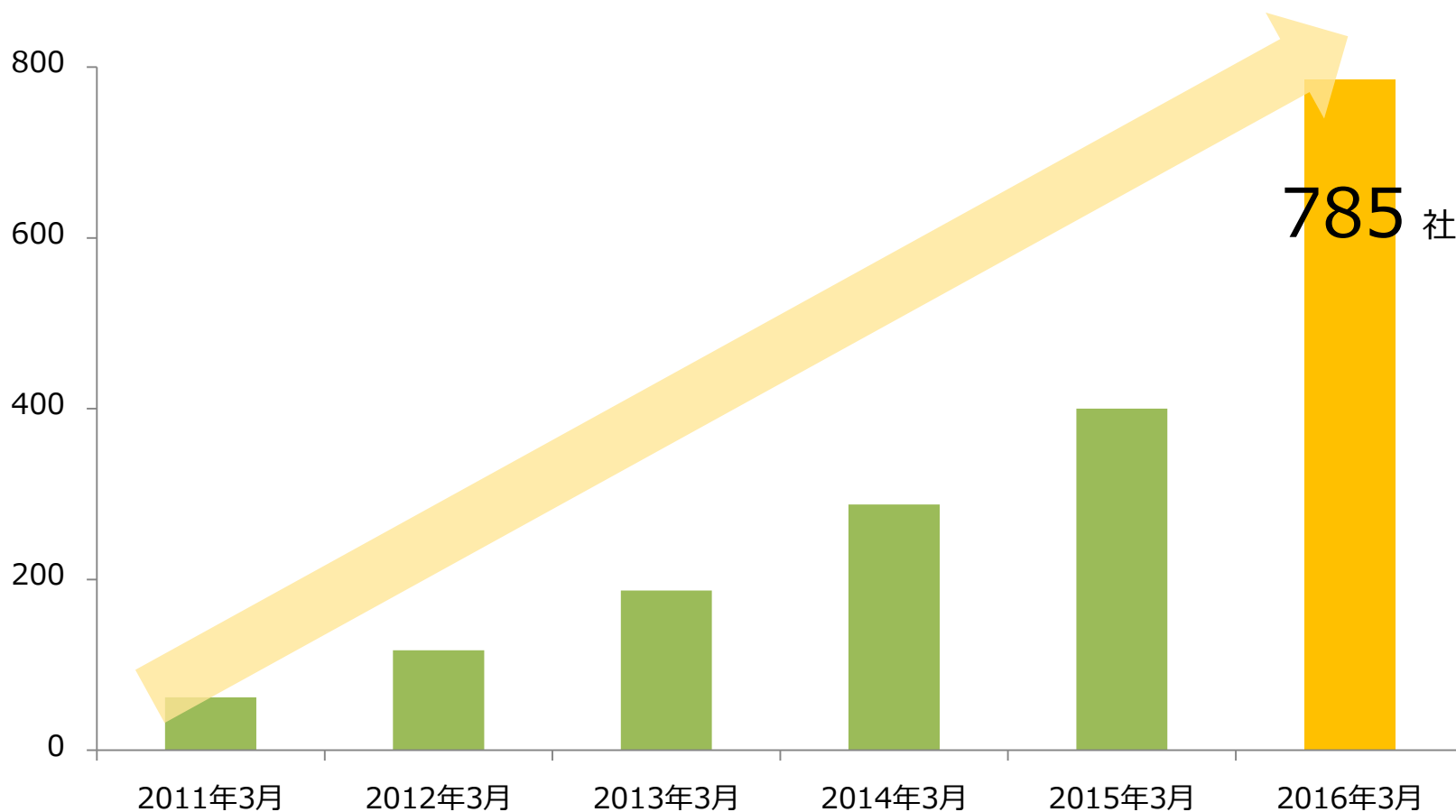
三井物産との業務提携

レアジョブでは、昨年7月に**三井物産**と業務提携を行うことで、**法人事業**の推進を強化しております。本年4月からは三井物産の大阪支店内に、レアジョブ大阪支社を設立し、関西方面での営業活動の強化も図っております。



法人研修等への導入実績

法人導入社数は785社(※)へと順調に増加しております。5年以内に3,000社とし、英会話サービス法人導入業界No.1を目指しております。

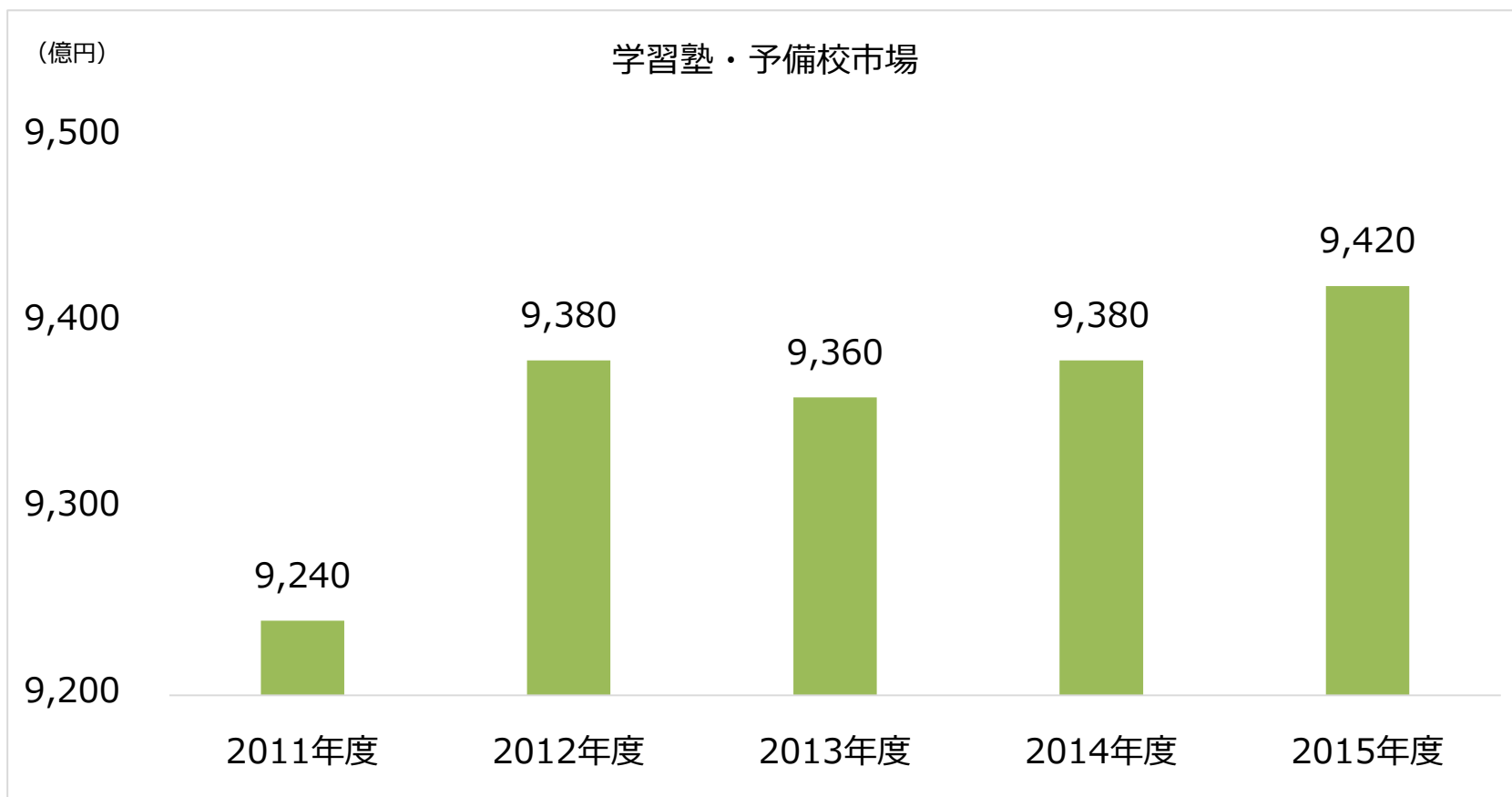


※当社と直接法人契約を締結または代理店経由で契約している企業と社内の福利厚生として導入（従業員と当社間の契約）している企業の合計数

3) 學習塾・予備校市場

学習塾・予備校市場

学習塾・予備校市場は、2015年度で約**9,420億円**であり、少子化の進行により限られた顧客層を奪い合う形で、業績を伸張させる事業者とそうでない事業者の明暗が分かれている状況にあります。



出典：矢野経済研究所「教育産業市場に関する調査結果2015」

英語教育改革のスケジュール

文部科学省では、2020年の英語4技能化のテストに向け、着実に準備が進められています。

2016年度：

- 高等学校基礎学力テスト①／大学入学希望者学力評価テスト②の骨子確定
- 大学の個別選抜の改革が進み、英語4技能化が加速

4技能試験対策の動きが加速

2017年度：

- ①・②のプレテスト実施
- 英語教員の英語力向上
→英検準1級同等の資格を中学50%、高校75%で取得

英語教員の英語力＋指導スキルUP

2018年度：

- 小学校における英語の「教科」化
- 外国語活動の開始学年を3年生に引き下げ。

小学校教員の英語対応

増進会出版社（Z会）との提携により学習塾市場に参入

2020年に大学入試に新たに4技能の一環として「スピーキング」が導入されることにより、**新たな受験生向けスピーキング市場が創設**されることを予測しております。

新しい市場で勝ち組となるため、通信教育大手である増進会出版社（Z会）と業務提携することで、**Z会グループ会員向け**、あるいは**学校向け**に、英会話サービスの共同開発を開始し、販売に向けた準備を着実に進めております。

日本人の英語コミュニケーション能力向上に貢献

英語教育サービスの共同開発

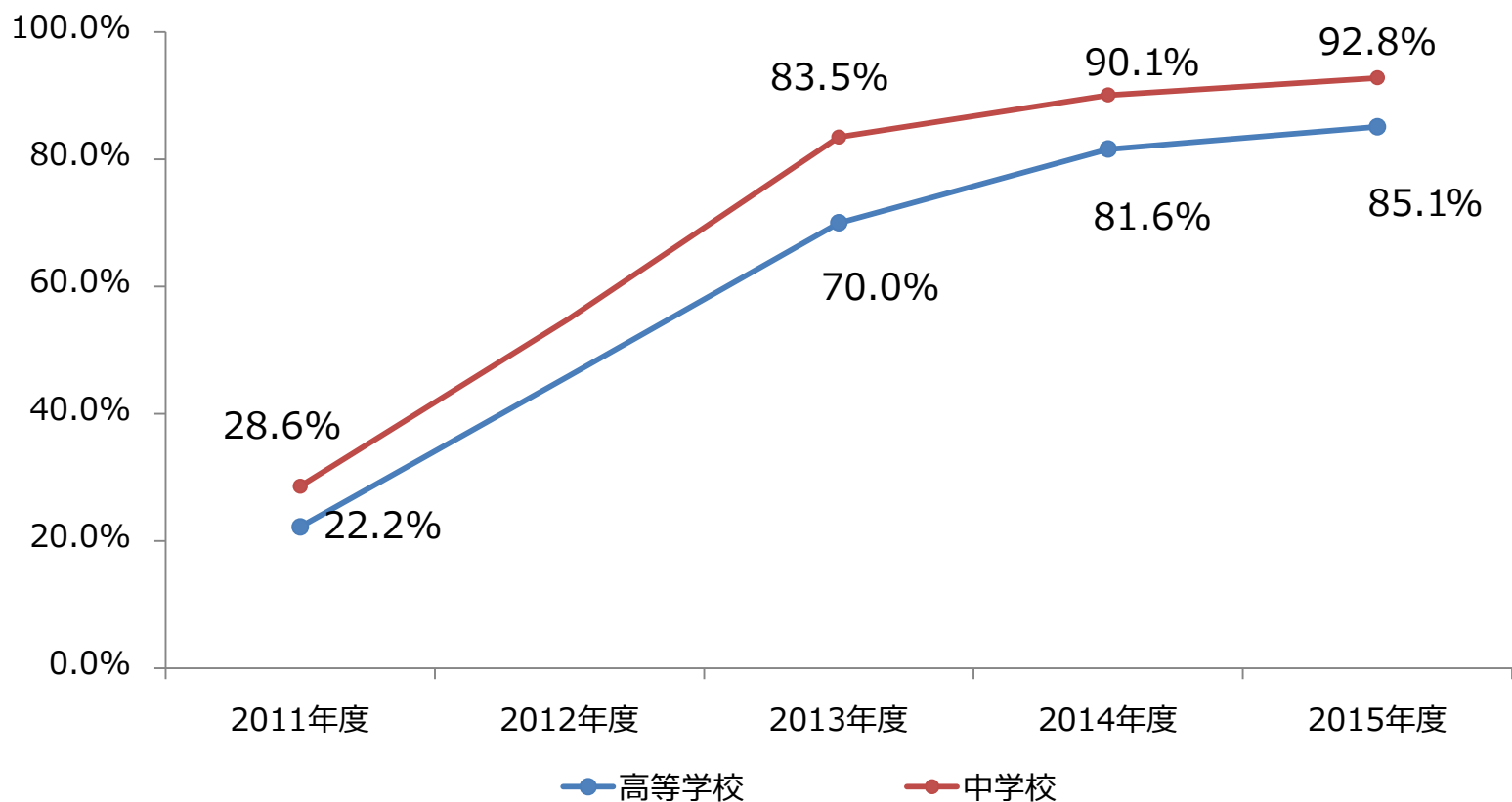


4) 学校向け教育ICT市場

英語の授業におけるICT機器の活用状況

高等学校、中学校での英語の授業におけるICT活用状況は年々上昇しております。

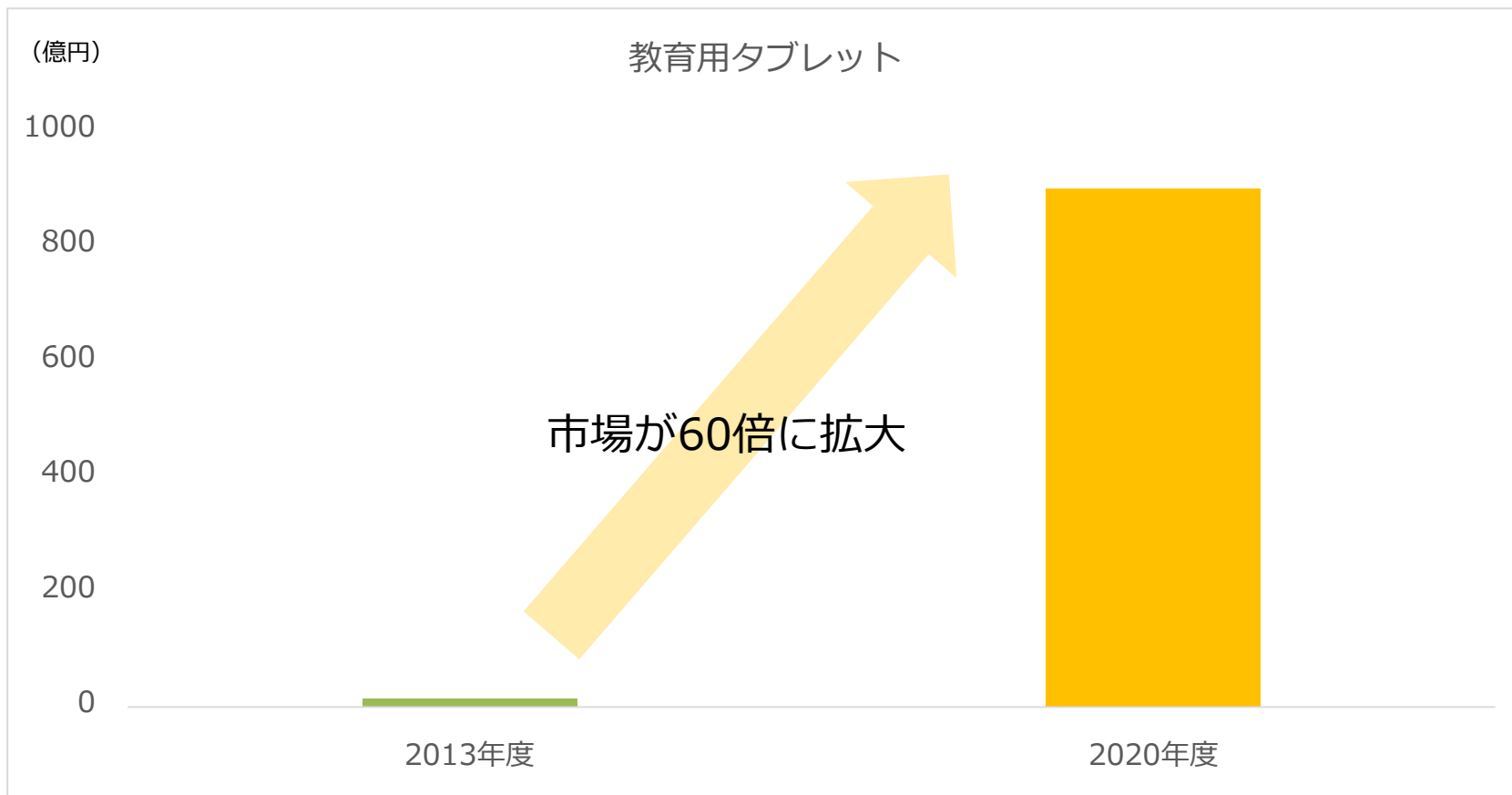
英語の授業におけるICT機器の活用状況



出典：文部科学省 平成27年度「英語教育実施状況調査」

教育機関向けICT市場（教育用タブレット）

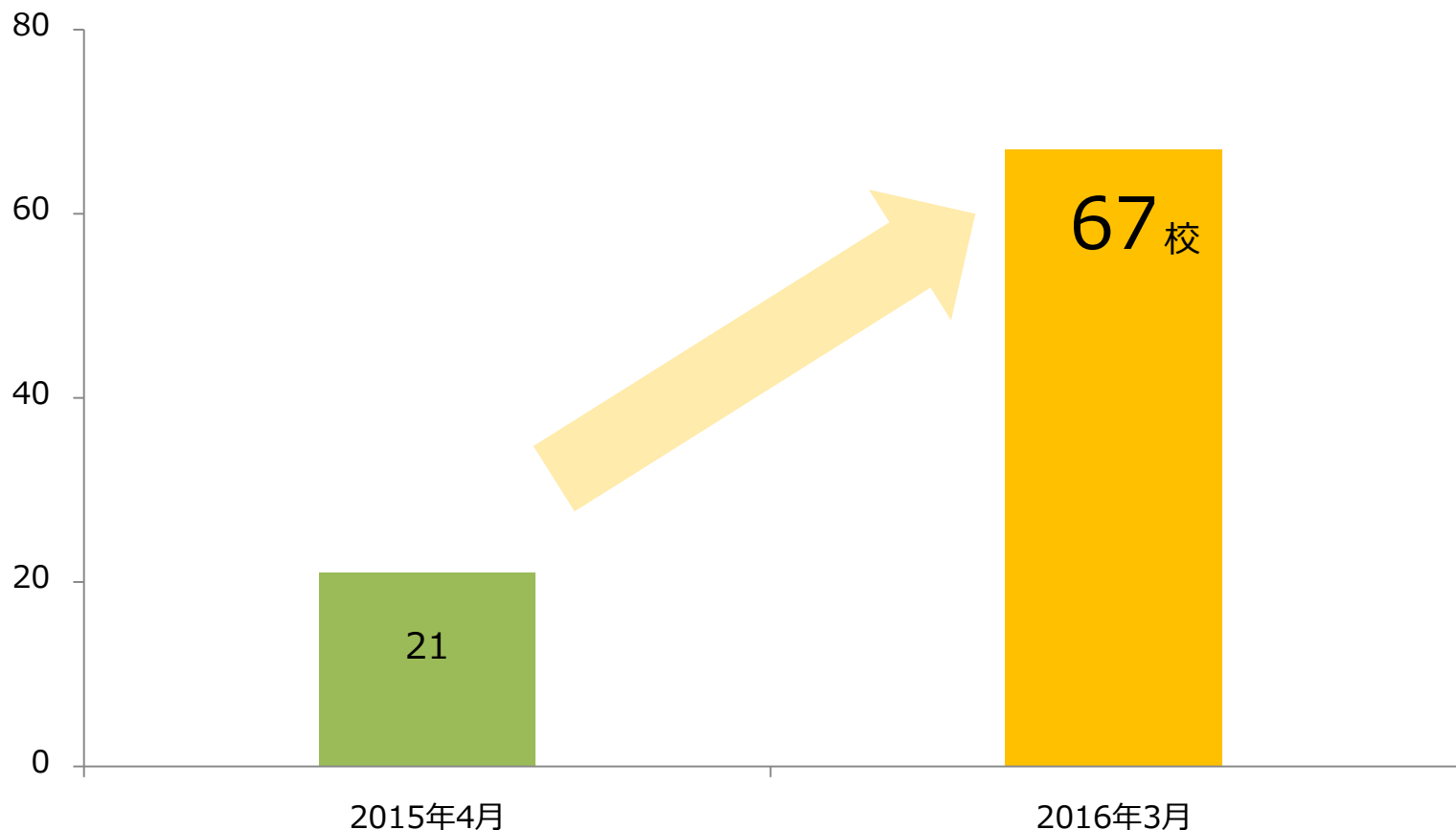
教育機関向けICT市場のうち、教育用タブレット端末は2020年には、900億円まで拡大することが予想されております。こういった教育機関のICTの整備に伴い、教育機関向けの英会話サービスの導入も増加するものと予想しております。



出典：シードプランニング「教育ICTの最新動向と市場展望に関する調査」
(2013年9月)

学校法人導入実績

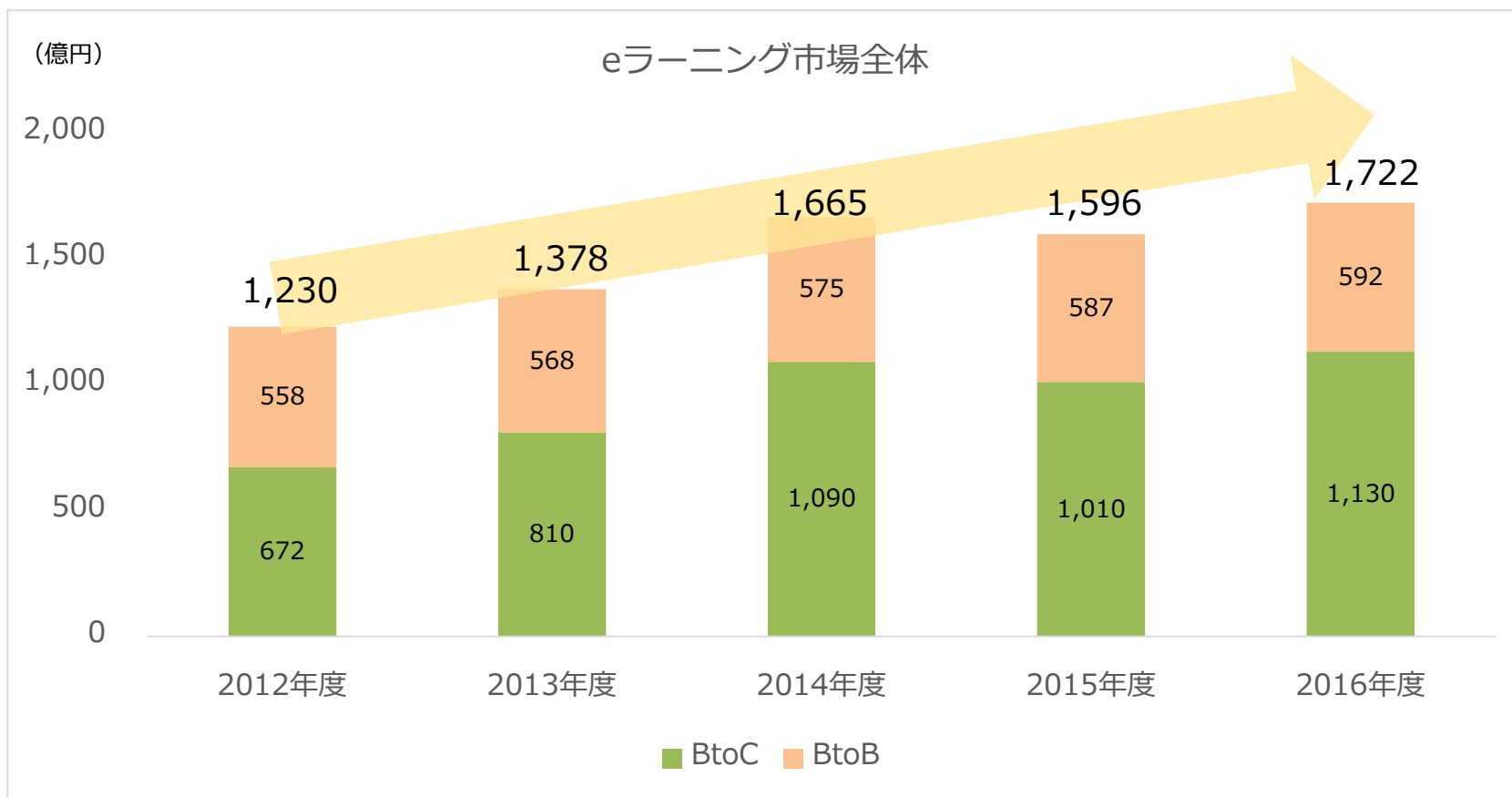
レアジョブでは、学校現場においてスピーキング能力の強化が求められてきている流れを受け、2015年4月より正式にスクール事業をスタートし、導入実績は67校となっております。現状ではまだテスト導入段階であり、今後、全国的な導入の流れが来るものと想定しております。



5)eラーニング市場全体

eラーニング市場全体

eラーニング市場は、2016年度で約**1,722億円**と想定されます。BtoB市場は利便性向上などを背景に堅調に推移、BtoC市場はサービスの拡充により市場拡大に貢献するものと想定されています。語学市場におけるeラーニングが現状では小さい市場ですが、今後、拡大が予想されております。



出典：矢野経済研究所「eラーニング市場に関する調査結果2016」

レアジョブ本気塾

海外では、eラーニング市場において、eラーニングとリアルな授業を組み合わせた**ブレンディッドラーニング（BL）市場**が拡大しております。レアジョブでも、お客様により短期間で高い成果を得てもらうため、BLサービスとして、「レアジョブ本気塾」を開始しております。4月より、モニター向けに初級、中級の4講座を開講しております。



本気塾

レアジョブ英会話

オンライン英会話のメリットとオフラインのメリットを融合したブレンディッドラーニングによるサービス

短期集中で学習仲間とラーニングサイクルによる効果的な学習を実行

3 . 海外展開

ブラジルでの事業展開「ENPOWER」

ブラジル事業におけるオンライン英会話サービスを「ENPOWER」ブランドで開始しております。現状、ブラジル経済は厳しい状況下にあります
が、将来、大きな市場になると想定しております。

ENPOWER
english power

[cadastre-se](#) [Login](#) [? dúvidas](#)

[Sobre nós](#) [Professores](#) [Passo-a-passo até a aula](#) [Aula teste](#) [Material](#) [Pagamento](#)

Aulas Particulares de Inglês pelo Skype!
Aprenda a falar Inglês aonde
for que você esteja!

CLIQUE AQUI E AGENDE 2 AULAS GRÁTIS

**PORQUE O NOSSO MÉTODO
FUNCIONA TÃO BEM?**

TODO MUNDO PODE

TODO OS DIAS

EM QUALQUER LUGAR

4 . 2017年3月期予想

2017年3月期予想

2017年3月期は、売上高については、前期比114.2%の増収を予想しています。また、営業利益については前期比581.6%の増益、経常利益については前期比126.0%の増益を予想しております。

なお、2017年3月期も引き続き投資を行う計画です。

	2017年3月期 通期予想	2016年3月期 通期実績	前期比	2015年3月期 実績	前期比
売上高	2,700	2,363	114.2%	2,112	111.9%
営業利益	100	17	581.6%	200	8.6%
営業利益率	3.7%	0.7%	—	9.5%	—
経常利益	100	79	126.0%	145	54.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	111	58.3%	107	103.9%

中期目標（営業利益目標）

英会話サービスの分野は大きな転換期を迎えており、ビジネスニーズ、学生ニーズともに大きく拡大が予想されています。レアジョブではこの好機を捉えるため、継続して、営業・開発人員を強化し、2017年3月期も引き続き積極的な投資を行う計画でおります。

中期目標：営業利益



重点項目

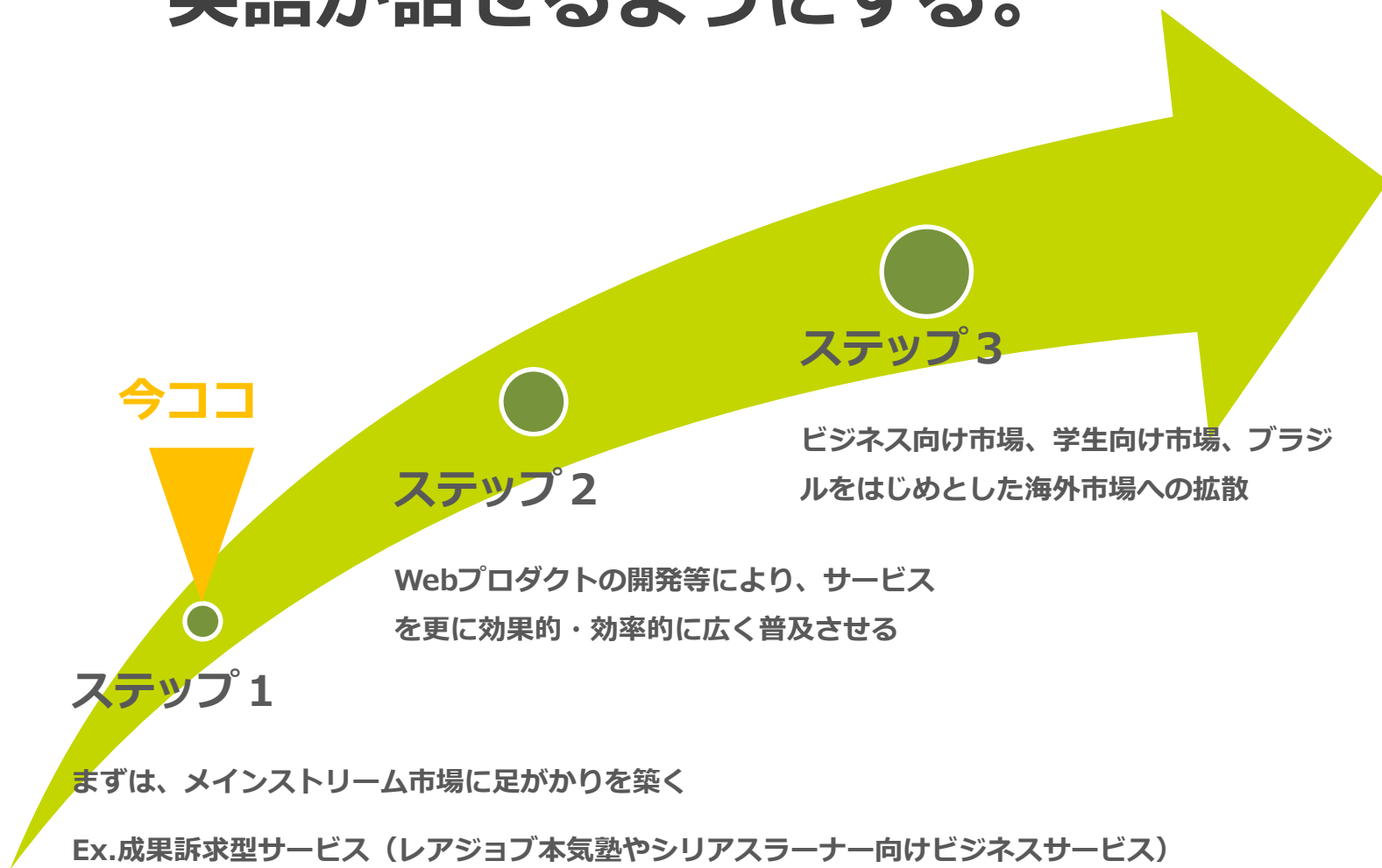
(1)ビジネス、学生向けの教材、レッスン、Webの改善、品質の大幅強化

(2)三井物産との連携による事業法人、学校向けの営業体制の強化

(3)増進会出版社（Z会）向けのサービス開発

(4)本気塾等のオフラインとの連携サービスの強化

日本人1,000万人を 英語が話せるようにする。



この資料は投資家の参考に資するため、株式会社レアジョブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社レアジョブ IR担当

TEL : (03) 5468-7401

MAIL : ir@rarejob.co.jp